

生活科学学習指導案

安芸郡府中町立府中北小学校 山口 眞紀

- 1 日 時 平成 25 年 11 月 27 日（水）1 校時
- 2 学 年 第 1 学年 1 組（男子 12 名 女子 15 名）
- 3 場 所 1 年 1 組教室 1 年 2 組教室
- 4 単元名 あきって 気持ちがいいね
- 5 単元について

○ 本単元は、小学校学習指導要領生活科の内容（５）「季節の変化と生活」（６）「自然や物を使った遊び」を受け、児童が校庭や近くの公園で季節の変化を感じ取り、思う存分自然に浸り、秋の自然物を使って友達と工夫しながら遊びを楽しむことができるようになることをねらいとして設定した。内容構成の具体的視点としては、「ク 時間と季節」「ケ 遊びの工夫」を取り入れている。

秋は、葉が色付いたり、実が落ちたり、虫が鳴いたりするなど、自然の変化が分かりやすい季節である。そのような自然の中で、諸感覚を働かせて十分に遊ぶことを通して、春や夏とは異なる自然の様子に気付くことができるようにしたい。また、見つけた秋の自然物を使って工夫して遊んだり飾ったりする活動を通して、自然の素晴らしさに気付き、自分たちで工夫してより生活を楽しくしていこうとする態度を育てたい。さらに、活動して楽しかったことを友達と伝え合うことで、人と関わることの楽しさを実感させたい。

○ 本学級の児童は、校庭にある多くの樹木、草花や、そこに棲む生き物たちとの触れ合い、自然を身近に感じることでできる環境にいる。また学校の近くには、「水分峡森林公園」があり、森林・野原・川などの自然に浸ることも容易である。第 1 学期単元「なつがきたよ」では、樹木の葉の様子、日差しの強さ、蟬の鳴き声などから、児童は春から夏への季節の変化を感じ取ることができた。また、集めた花や葉を使っていろいろな遊びを楽しんだり、水や土や砂を使って遊んだりして、夏の季節を生かした遊びを楽しむこともできた。

児童アンケートにおいて「自然の中で遊ぶことや自然のものを使って遊ぶことが好き。」と肯定的に答えている児童は 96%であり、自然との関わりを積極的に楽しむことができていことが分かる。友達と関わり合って学習することについても、「自分の考えをみんなに聞いてもらうことが好き。」81%、「友達の考えを聞くことが好き。」88%と肯定的に答えている。しかし、関心をもって友達の発言を聞いたり気付きを伝え合ったりするなど、友達と関わりながら学習を深めることは、まだ十分にはできていない。

○ 指導に当たっては、次の点に留意していきたい。

まず、小単元「あきを見つけよう」では、一人一人の思いや願いを生かし、諸感覚を使って校庭や公園の自然に繰り返し関わらせることで、夏から秋への季節の変化に気付くことができるようにしたい。活動後には、気付いたことをクラス全体で交流し、集めた自然物をどのように使うと楽しいかについて、これまでの経験を基に考えさせたり、調べさせたりすることを通して、自ら進んで自然と関わって遊ぶことができるようにしたい。活動中には、進んで自然物と関わろうとする態度を肯定的に評価していきたい。

次に、小単元「あきをたのしもう」では、秋の自然物を使ってつくった物を、クラスの友達と試したり比べたりしながら、気付きを交流する場を設定し、考えたことが実現するようにさせたい。より遊びが楽しくなる活動を工夫させることで、「あきまつり」への意欲を高めていきたい。

単元末の「あきまつりをしよう」では、隣のクラスの友達を招待して、2クラス合同で見付けた秋の楽しさを伝え合う活動を仕組む。お店屋さんの立場では、どんなことを伝えたいかどのように伝えたいかをはっきりさせ、グループで話し合ったり準備を進めたりできるように、学習カードに整理させる。お客さんの立場では、どんな秋の楽しさがあるか見付けながら、活動するように意識させる。お店屋さんとお客さんという立場で双方向のやりとりが必然的に生まれる場を仕組むことにより、友達と一緒に活動することの楽しさや、友達とよさを認め合う喜びを感じさせたい。

また、生活科で学習したことを国語科「話す・聞く」「書く」単元に生かしたり、国語科で学習した表現の仕方を「あきまつり」で活用したりするなど、国語科との関連を図った指導を行う。さらに、図画工作科ではサツマイモの収穫の様子を絵にしたり、音楽科では自然物を使った楽器を工夫して作り合奏に使ったりするなど、多様な表現方法につながるよう、他教科との関連も図りながら指導を行っていく。

6 単元の目標

校庭や公園で葉や実など秋の自然で遊んだり、遊びに使うものを工夫してつくったりすることを通して、季節が秋に変化してきたことや、自然の不思議さ、遊びの面白さに気付き、自分たちの生活を工夫したり、みんなで楽しく遊んだりすることができるようにする。

7 単元の評価規準

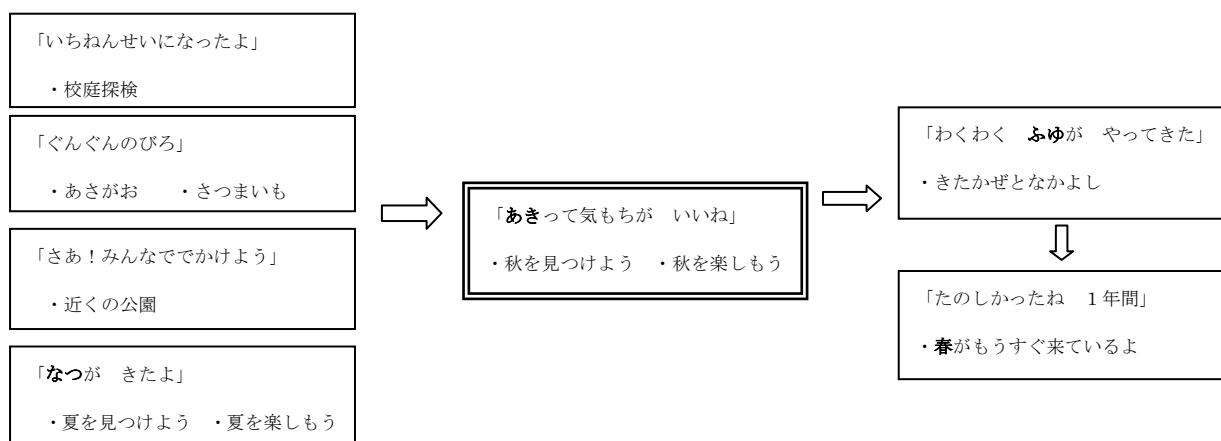
		生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分について の気付き
単元 の 評価 規 準		身近な秋の自然に関心をもち、それらと関わる活動を行うなどして、楽しく生活しようとしている。	秋になると生活の様子が変わることや、秋の自然を利用した遊びについて、自分なりに考えたり工夫したりしたことを、素直に表現している。	季節の変化によって生活の様子が変わることや、自然の不思議さ、自然物を使ってみんなで遊ぶ面白さに気付いている。
学習活動 (小単元) における 評価 規 準	1	①身近な秋の自然に目を向け、思いや願いをもって関わろうとしている。		①季節によって生活の様子が変わることや、秋の自然の特徴に気付いている。
	2	②秋の自然を使って、遊びや遊びに使う物をつくろうとしている。	①飾るものや遊ぶ物を工夫しながら作ったり遊んだりしたことを、素直に表現している。	②秋の自然の不思議さや、それを使った遊びの面白さに気付いている。
	3	③友達と協力しながら、「あきまつり」の準備をしている。	②楽しさが伝わるように工夫したことや、友達と関わって遊んだことを、自分なりに表現している。	③秋の自然を生かしながら、友達と関わって遊ぶことの楽しさに気付いている。

8 指導と評価の計画（全 16 時間）

関＝生活への関心・意欲・態度，思＝活動や体験についての思考・表現，気＝身近な環境や自分についての気付き

小単元名 (時数)	主な学習活動	評価規準及び評価方法	
1 あきをみつけよう (5 時間)	○校庭の秋さがしをする。(2) ○水分峡森林公園へ出かけ，季節が秋に変化したことを感じ取ったり，自然を使って遊んだりする。(3)	関① 気①	行動観察 学習カード 行動観察・発言 学習カード
2 あきをたのしもう (6 時間)	○見つけた秋の自然物を利用してどんなことができるかを話し合う。(1) ○自然物を使って遊ぶものや飾る物を工夫したり，友達と気付いたことを交流したりする。(4) ○活動を振り返り，見つけた秋の楽しさを隣のクラスの友達にも伝える計画を立てる。(1)	関② 関② 思① 気②	行動観察・発言 行動観察 発言 作品・作品カード 発言 学習カード
3 あきまつりをしよう (5 時間)	○「あきまつり」の準備をする。(2) ○「あきまつり」をして，自分たちの見つけた楽しい秋について伝え合う。 (本時 3・4／5) ○単元全体を振り返る。(1)	関③ 思② 気③ 気③	行動観察 行動観察・発言 学習カード 学習カード

*単元の位置付け



9 本時について（2 時間）

(1) 本時の目標

「あきまつり」で，見つけた秋を生かした遊びのアイデアや工夫，面白さなどを伝え合い，お互いのよさを認め合うことで，友達とみんなで遊ぶと楽しいことや友達のよさに気付くことができるようにする。

(2) 準備物 各グループのお店の準備物，学習カード

(3) 本時の展開

学習活動	・指導上の留意点◇予想される児童の反応 ◎言語活動の充実	評価規準（評価方法）
1 前時の活動を想起し、 本時の活動を確認する。 2 本時のめあてを知る。	・前時2時間を使って、グループごとに秋祭りの準備をしておく。 ・前半と後半で役割（店員、客）を決めておく。	
あきまつりで 見つけたあきのたのしさを つたえあおう		
3 隣のクラスの友達をお客さんにして、見付けた秋を伝え合う。 ・お店屋さんになって、隣のクラスの友達を招き、見付けた秋の楽しさを伝える。 ・お客さんになって、隣のクラスの店を訪れ、秋の楽しさを見付ける。 4 店員と客の役割を交代する。	・秋について伝えたいことが隣のクラスの友達にうまく伝わるように、考えさせておく。 ◇○○さんは、○を使って○をするのが楽しいよ。 ・説明を最後までしっかり聞き、分からなかったことは質問するようにする。 ◎客になって活動を楽しんだ後に、気づきや感想を店員に伝え、楽しかったことや気付いたことを伝え合ったり共感し合ったりする。 ◇落ち葉には、いろんな色があるね。 ◇どんぐりは大きさや形によって、転がり方が違うのが面白いね。 ◇いもづるで、いろいろな遊びができるね。 楽しいね。 ◇落ち葉ってあたたかいね。 ・音楽が鳴り始めたら移動を始め、お店やさんとお客さんの役割を交代する。	【思考・表現】② 秋の楽しさが伝わるように工夫したことや、友達と関わって遊んだことを、自分なりに表現している。（行動観察、発言、学習カード）
5 「あきまつり」を振り返り、感想を発表する。	・「あきまつり」で発見したことを発表する。 ・お互いの気づきや工夫のよさを認め合うことができるようにする。 ◇ぼくのどんぐりめいろで、友達が夢中で遊んでくれて、嬉しかった。	【気づき】③ 秋の自然を生かしながら、友達と関わって遊ぶことの楽しさに気付いている。（行動観察、発言、学習カード）

(4) 板書計画

あきって きもちが いいね		がんばること												
めあて あきまつりで 見つけたあきのたのしさを つたえあおう		おみせのひと 見つけたあきのたのしさをわかりやすくつたえる。 おきやくさん 楽しかったことや気づいたことをつたえる。												
がくしゅうのながれ ①めあてのかくにん ②あきまつり <table border="1"> <tr> <td></td> <td>おみせのひと (1くみ きょうしつ)</td> <td>おきやくさん (2くみ きょうしつ)</td> </tr> <tr> <td>前</td> <td>りすグループ</td> <td>うさぎグループ</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>うさぎグループ</td> <td>りすグループ</td> </tr> </table> ③ふりかえり			おみせのひと (1くみ きょうしつ)	おきやくさん (2くみ きょうしつ)	前	りすグループ	うさぎグループ	後	うさぎグループ	りすグループ	○○やさん	○○やさん	○○やさん	○○やさん
	おみせのひと (1くみ きょうしつ)	おきやくさん (2くみ きょうしつ)												
前	りすグループ	うさぎグループ												
後	うさぎグループ	りすグループ												